



2学期始業式校長の話

夏休みが終わりました。今日から2学期が始まります。1学期の終業式で、イヤなこと苦しいことから逃げていなかったか、トラブルなどは家の人や先生に相談しながらも最後は自分で解決したか。ということをして1学期の学校生活や家での生活を振り返ってみてください。という話をしました。この話について、夏休みに自分なりに考えたでしょうか。考えた人はそれを実際に実行に移してみてください。ものすごく成長できると思います。

さて、右田中学校の学校教育目標は、3年前から「生徒の自主・自立の育成」としています。サブタイトルは「信じて・任せて・認める」ですが、これは先生方の目標です。生徒のみなさんのサブタイトルは「自分で気づき、判断し、行動する」になります。3年間同じ学校教育目標にしている理由は、私が高校の校長先生や企業の社長さん方と話をしたとき「今の社会は、指示待ちの人は必要とされていない。失敗しても自分で考え行動する人を世の中は望んでいる」と言われました。今の世の中は、知らず知らずのうちに指示待ちになってしまうことがたくさんあります。例えば、テレビで放送される天気予報です。「今日は午後から雨が降る予報ですので、傘をお忘れなく」と親切に傘をもっていくことを知らせてくれていますが、そのキャスターが言うとおりの何も考えずに傘を持っていくこと。これが指示待ちの原因になります。傘が必要かどうかは、天気予報を見たり、天気図を見たり実際の空や雲を見て自分で考え、判断することです。もちろん判断を誤って傘を持っていかず、雨にぬれてしまうといった失敗も起こります。でも、次は失敗しないようにと人は考えます。失敗があっても、自分で考え、判断する人が社会では活躍しています。何も考えず、言われるとおりのことだけすると人は思考停止の状態になります。これを積み重ねていくと、何も考えられなくなり、何も判断できなくなり、誰かに言ってもらわないと何もできなくなる人になってしまいます。みなさんがそうした人にならないよう右田中学校では、大雨や地震や大雪などの自然災害やミサイルが飛来してきたときの登校について、遅れて登校するのか、欠席するのかをみなさんで判断してもらうようにしています。指示待ちはその時は楽ですが、思考停止になって将来苦しむことになりかねません。指示待ちにならないよう「自分で気づき、判断し、行動する」ことを常に意識して生活してほしいと思います。

また、気づいて、判断するためには、知識が必要です。その知識はどこから得るかという勉強と経験です。勉強も先生に教えてもらうだけでは、指示待ちになってしまいます。教えてもらうだけでなく、みなさんから積極的に知りたいこと、わからないこと、必要なことを学んでいきましょう。

まだまだ、暑い日が続きます。どう過ごしたらよいか指示待ちにならずに自分で考え、判断し、行動してこの暑さを乗り切りましょう。

ALT ロヘリオ先生の紹介

右田中学校の皆さん、こんにちは。私の名前は ロヘリオ ジュニア バナレス ラコルテです。よろしくお願ひします。右田中学校の皆さんから温かくやさしい歓迎を受けて、大変感謝しています。ありがとうございます。感動しました。生徒の皆さん、右田中学校で過ごす時間の一瞬一瞬を大切にしてくださいね。学習は時に非常に難しく、途中でまちがう時もあります。まちがったときは、そこから学びましょう。最も大事なことは、学んでいるときに楽しむことを決して忘れないことです。皆さんの人生に幸あれと願っています。



1 学期期末テスト週間中の学習状況について

1 学期の期末テスト週間中（1 週間）の、生徒の学習時間とメディア使用時間（スマホ・ゲーム・テレビ等の時間）の調査を行いました。

調査結果（平均）は次の通りです。

【学習時間】

4 時間以上	24.0%
3 時間以上、4 時間未満	16.6%
2 時間以上、3 時間未満	25.2%
1 時間以上、2 時間未満	21.3%
1 時間未満	12.9%

【メディア時間】

1 時間未満	44.1%
1 時間以上、2 時間未満	24.1%
2 時間以上、3 時間未満	16.4%
3 時間以上、4 時間未満	4.3%
4 時間以上	9.8%

【分かること】

- ① 学習時間が多い生徒ほどメディア時間が少ないことが予測できます。
- ② 学習時間が2時間未満の生徒が34.2%いるので、学習時間をもっと増やす必要があります。
- ③ 学習時間が少ない主たる要因は、メディア時間にあるということが予測できます。

地域連携育

8月20日(火)に地域連携による取組として、代表児童生徒・保護者・地域・小中教員による「熟議」を実施しました。「熟議」についてご紹介します。

熟議（学力熟議）

右田中学校区小・中学校の代表児童生徒並びに保護者、小・中学校運営協議会委員、小・中学校教員が玉祖小学校に集り、午前9時から1時間半、「児童生徒の学力向上」について、じっくり話し合いました。

「学力向上」という課題は、小・中学校共通の課題です。そこで、本年度の熟議のテーマは、「右玉子ネット心を育む10か条」の1項目「学校でも地域でも 時間を決めてしっかり勉強」を取り上げ、「学校でも地域でも児童生徒がしっかり勉強するためには」を議題に、話し合いました。「なぜ、何のために勉強するのか」という学習の意義・価値から、「どうすれば、もっと勉強できるようになるのか」という、児童生徒を学習に向かわせる方法について、それぞれの立場から積極的に意見交換が行われました。

保護者からは、「学習の仕方が分かっていないのではないか。」や、「メディアの時間を減さなければならぬ。」という意見や、「将来の夢をもってほしい。」という意見などが出ていました。地域からは、「もっと先生を活用しなければならぬ。先生に教えてもらいに行かなければならぬ。」という意見も出ていました。児童生徒からは、「将来は〇〇になりたい。そのためにもっと勉強ができるようになりたい。」という意見もありました。それぞれの立場で積極的に意見が出され、大いに盛り上がった熟議になりました。

「学力を向上させることは大切なことである」ということについては、皆一致しています。この度の学力熟議で出た意見と、熟議後に行ったアンケートの結果をもとに、今後具体的にどう取り組んでいくか協議し、実践していき、児童生徒の夢の実現に貢献したいと考えております。

「熟議に参加して」 右田中 生徒会長 大本 菜都
地域の方々と交流ができ、自分にはない様々な観点の意見を聞くことができとても良い経験になりました。日頃から勉強することの大切さを改めて実感しました。私は受験生なので、将来に向けて中学校卒業時には自分が行きたい高校へ進学し、自分が学びたいことを学習できればと思います。そのために日々の努力を大切にしていきたいと思います。



【熟議の様子】